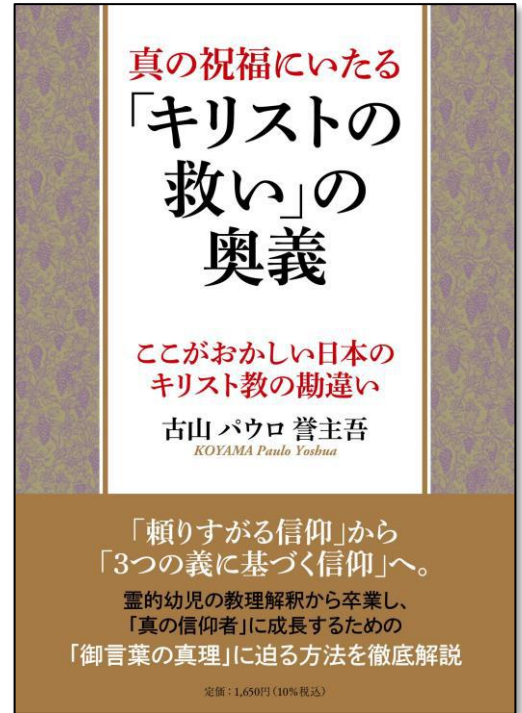


真の祝福にいたる「キリストの救い」の奥義

ここがおかしい日本のキリスト教の勘違い

「頼りすぎる信仰」から、 「3つの義に基づく信仰」へ。

●神との関係を成立させるには「肉体、魂、霊」で構成される人間も霊の価値観・判断基準で『聖書の言葉』＝祝福への約束を解釈しなければなりません。
「霊的幼児」の教理解釈から卒業し「真の信仰者」に成長するための「御言葉の真理」に迫る方法を徹底解説。



■本書の構成

導入聖句

第1部 現代プロテスタント教派の霊性欠如

- 第1章：十字架を背負った日本のキリスト教
- 第2章：私たちが「プロテスタント神学」と解釈していること
- 第3章：パウロの言う「霊的成熟」とは
- 第4章：「恵みから落ちる」とは
- 第5章：新しい契約であるキリスト教
- 第6章：神様の「選び」の第一原則とは
- 第7章：聖霊のバプテスマについて
- 第8章：クリスチャンが犯す霊的罪とは
- 第1部まとめ：現代キリスト教の霊的欠落

第2部 「ガラテヤ人への手紙」の謎を解く

- 第9章：霊的学びへの導入
- 第10章：パウロの伝道旅行の実態。
- 第11章：ガラテヤ人の受け入れ。パウロの初めての宣教結果
- 第12章：あれほどのこと (suffered) とは
- 第13章：「ガラテヤ人への手紙」と「使徒の働き」との整合性
- 第14章：そんなにも急に、の意味と時期
- 第15章：ケパ (ペテロ) の信仰の失敗
- 第16章：「ガラテヤ人への手紙」の謎を解く
- 第17章：パウロの宣教の弱点
- 第2部まとめ：信仰の本質 (真理) の学び方

著者略歴

古山パウロ 誉主吾 (こやま ぱうろ よしゅあ)

1945年生まれ。高校時代に受洗。多摩美術大学PD科を卒業し、本田技術研究所に入社。米国駐在の際に霊的教理解釈を学び、信仰の本質が「神との霊的緊密さ」であると啓示を受ける。定年退職後、JTJ宣教神学校牧師志願科を卒業。セオロジークライスト会を主宰し、現在に至る。主な著書に『パウロの目からウロコ』シリーズ全9巻 (セオロジークライスト会)、『「天に携挙されるクリスチャン」になるには～イエス・キリストが空中再臨する時に備えて～』 (幻冬舎メディアコンサルティング)。

<p>貴店印・帳合</p> <p>ご担当 様</p>	<p>ご注文数</p> <p>冊</p>	<p>真の祝福にいたる「キリストの救い」の奥義</p> <p>ここがおかしい日本のキリスト教の勘違い</p> <p>A5判型/368頁</p> <p>古山パウロ 誉主吾/著</p> <p>定価：1,650円(10%税込)</p> <p>ISBN978-4-910739-41-0</p> <p>発売日：2023年12月18日</p>
----------------------------	----------------------	--

発行

PHPエディターズ・グループ

〒135-0061
東京都江東区豊洲5-6-52 11階
☎ 03-6204-2931
FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。